# NEC

## MP-02

# トラブルシューティングガイド

3.0版

Copyright: 2016-2017 NEC Display Solutions, Ltd.

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。本書の内容については、万全を期して作成しております が、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

Windowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

「イーサネット」、「Ethernet」は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他、本通知に登場する会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

### 目次

はじめに
1. トラブル発生時の確認ポイント 6
1.1 ソフトウェアのバージョン確認
1.2 オーサリングソフトウェアのプレビューで動画を表示しない6
1.3 無線でルーターに接続できない
1.4 Wi-Fi 設定タブで接続したいルーターが見えない
1.5 有線でルーターに接続できない
1.6 有線で MP-02 に接続できない(Pear to Pear 接続)7
1.7 リモートマネージャーのスケジュールリストに何も表示されない8
1.8 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」でデバイス名を表示しない、表示してもすぐ消える
1.9 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」で以前は表示していたデバイス名が表示されなくなった
1.10 リモートマネージャーでエクスポートするとエラーになる8
1.11 MP-02 で再生できない
1.12 複数の MP-02 で同一スケジュールが同時に切り替わらない(プログラムが同時に切り替わらない) 9
1.13 雷源ランプが占灯しているのに画面になにも表示されていない
2. 制限事項
<ol> <li>1.1.2 毛感のクラング (1.1.5) してい ひからと日面にものに じしかとくてているい (1.1.5)</li> <li>2.1 オーサリングソフトウェア</li></ol>
<ol> <li>2. 制限事項</li></ol>
<ol> <li>制限事項</li></ol>
<ol> <li>1.1.2 毛減シジジル 減らしてい ひからとし血にものとしたりといてているい パーロック</li> <li>2.1 オーサリングソフトウェア</li></ol>
1113       2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11
2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12
2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       12
110       110         2.       制限事項         10       1.1         2.1       オーサリングソフトウェア         10       1.1         2.2       MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)         10       10         3.       リモートマネージャーをパソコンに設定する         11       3.1         3.1       ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする         11       3.2         3.2       リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について         11       3.3         12       3.4         「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する         12       4.         MP-02       のメディアプレーヤー設定         UI       でネットワーク設定する
112       112         2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       12         4. MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する       13         4.1 無線 LAN を選択して接続する       13
2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       12         4.1 無線 LAN を選択して接続する       13         4.2 MP-02 の IP アドレス等設定する       14
2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       12         4. MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する       13         4.1 無線 LAN を選択して接続する       13         4.2 MP-02 の IP アドレス等設定する       14         4.3 MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャーIP アドレスを設定する       15
2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       12         4. MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する       13         4.1 無線 LAN を選択して接続する       13         4.2 MP-02 の IP アドレス等設定する       14         4.3 MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャーIP アドレスを設定する       15         5. リモートマネージャーでスケジュールをエクスポート(配信) する       16
2. 制限事項       10         2.1 オーサリングソフトウェア       10         2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー)       10         3. リモートマネージャーをパソコンに設定する       11         3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする       11         3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について       11         3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       12         3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する       13         4.1 無線 LAN を選択して接続する       13         4.2 MP-02 の IP アドレス等設定する       14         4.3 MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャーIP アドレスを設定する       15         5. リモートマネージャーでスケジュールをエクスポート(配信) する       16         5.1 スケジュールを選択してエクスポートしたい MP-02 に設定する       16

6. ネットワーク設定に関する操作手順17	
6.1 「Windows ファイアウォール」を有効にする方法17	
6.2 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する(TCP 編)19	
6.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する(UDP 編)24	
6.4 「Windows ファイアウォール設定」で受信規則を手動追加する	
6.5 「Windows ファイアウォール設定」で送信規則を手動追加する	
6.6 リモートマネージャーPC の IP アドレス、MAC アドレス(物理アドレス)を確認する方法	
6.7 リモートマネージャーPC から同一ネットワーク MP-02 の MAC アドレスを確認する方法	
6.8 同一ネットワークの MP-02 の登録名表示例	
6.9 リモートマネージャーの設定情報を作り直す	
6.10 ping コマンドでネットワーク接続確認をする方法37	
6.11 USB 有線 LAN とリモートマネージャーPC を LAN ケーブルで直接接続してエスクポート	
6.12 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法43	
6.13 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法(Windows 8.1 / 10 編)	45
6.14 DHCP 設定(自動設定)時の IP アドレスを確認する方法	
6.15 ローカル PC に NTP サーバーを構築してメディアプレーヤーに設定する	
7. MP-02 が表示するメッセージ	

#### はじめに

#### 本書について

本書では、MP-02のネットワーク設定に関する操作方法やネットワーク設定に役立つ操作方法などを説明しています。

#### 各章の概要説明

- ・1章ではトラブルシューティングに関する情報を説明しています。
- ・2章ではオーサリングソフトウェア、リモートマネージャー、メディアプレーヤーの制限事項を説明しています。

以降はトラブルを解決するための関連操作手順を説明しています。

- ・3~5章ではオーサリングソフトウェアで作成したスケジュールを MP-02 ヘネットワーク配信するための設定手順を 説明しています。
- ・6章ではネットワーク設定に関する情報を説明しています。
- ・7章では MP-02 が表示するメッセージの一覧と表示する条件と表示を回避するための確認内容を説明しています。

#### 改版履歴

版数	変更内容	変更個所
1.0	新規作成	-
2.0	ローカルに NTP サーバー構築方法追加	6.15 を追加
	RemoteManager 手動設定 UDP 編の詳細説明を追加	6.3 を変更
3.0	MP-02 が表示するメッセージを追加	7 を変更
	トラブル発生時の確認ポイントを追加	1.13 を追加

1. トラブル発生時の確認ポイント

発生したトラブルを解決するための確認ポイントを現象ごとに説明します。

1.1 ソフトウェアのバージョン確認

オーサリングソフトウェア、リモートマネージャー、メディアプレーヤーが最新バージョンになっているか確認してください。 →最新のソフトウェアは以下のサイトからダウンロードすることができます。

http://www.nec-display.com/dl/jp/dp/mp02/index.html

インストールの際は Administrator 権限のあるアカウントで実施してください。

→インストーラーを起動すると以下の「ユーザーアカウント制御」を表示します。「はい」を選択してインストールしてください。 表示しない場合はインストーラーを右クリックで「管理者として実行」を選択して実行してください。



リモートマネージャーの場合

💔 ב-ザ- דל-ב	ウント制御	×
? сор	プリが PC に変更	を加えることを許可しますか?
Đ	プログラム名: 確認済みの発行ラ ファイルの入手先:	RemoteManager Setup 〒: NEC Display Solutions, Ltd. このコンピューター上のハード ドライブ
○ 詳細を表対	示する( <u>D</u> )	はい(Y) いいえ(N)
		これらの通知を表示するタイミングを変更する

1.2 オーサリングソフトウェアのプレビューで動画を表示しない

オーサリングソフトウェアが正しくインストールされていないと本現象が発生します。Administrator 権限のあるアカウントで再インストールを 行ってください。

正しくインストールされると、オーサリングソフトウェア起動時に以下の「ユーザーアカウント制御」を表示します。

→「はい」を選択して起動してください



- 1.3 無線でルーターに接続できない
- ルーターのネットワーク名(SSID)を確認する。SSID が 32 文字以上、または半角英数字以外の文字を使用している場合は SSID 文字数を 31 文字以下にする、および半角英数文字で設定する必要があります。
   →ルーターの設定ツールで SSID を変更してください。
   ルーターの設定ツール操作方法はご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。
- ② ルーターが MAC アドレスフィルタリング設定を使う設定になっていないか確認する。
  - →ルーターの設定ツールで登録したい MP-02 やパソコンの MAC アドレスを登録します。MAC アドレスフィルタリング機能を使わない場合は 無効にします。

ルーターの設定ツール操作方法はご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。 MAC アドレスを確認する方法は以下を参照してください。 リモートマネージャーPC の IP アドレス、MAC アドレス(物理アドレス)を確認する方法 リモートマネージャーPC から同一ネットワーク MP-02 の MAC アドレスを確認する方法

③ ルーターが使用している無線チャンネルを手動で変更する。 有線で接続できるが無線で接続できない、無線接続が途切れる場合に無線ルーターが使用しているチャンネルを変更することで回避できる場合が あります。無線ルーターが使用する周波数帯(2.4GHz 帯)に影響を与える機器(電子レンジ、ワイヤレスマウス、Bluetooth 機器など)からの

→ルーターの設定ツールで使用する無線チャンネルを変更します。

ルーターの設定ツール操作方法はご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。

- ④ ルーターの設置場所を変える。
   無線ルーターの電波が飛びやすい環境に設置することで改善が期待できます。
   →室内中央に設置する、MP-02の近くに設置する、など。
   USB 有線 LAN アダプターを追加して有線 LAN 環境を構築してネットワーク配信する方法もあります。
- 1.4 Wi-Fi 設定タブで接続したいルーターが見えない
- ルーターの設定でステルス機能(または ANY 接続拒否)が有効になっていないか確認する。
   →ルーターの設定ツールで機能を無効にすることで表示させることができます。
   ルーターの設定ツール操作方法はご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。
- 1.5 有線でルーターに接続できない

電波干渉回避に有効です。

- ① LAN ケーブル外れがないか確認します。
- ② リモートマネージャーPC、およびメディアプレーヤーのネットワーク設定で同一ネットワーク設定(同一セグメント設定)になっているか確認 します。(特に手動設定で各アドレスを設定している場合)
- ③ ネットワーク設定確認が完了したら、リモートマネージャーPC からルーターや MP-02 から ping の応答が返ってくるか確認します。
   →確認方法は以下を参照してください。
   ping コマンドでネットワーク接続確認をする方法
- 1.6 有線で MP-02 に接続できない(Pear to Pear 接続)
- ① LAN ケーブル外れがないか確認します。
- ② ネットワーク設定を確認します。
   Pear to Pear 接続の場合、手動でリモートマネージャーPC、および MP-02 の IP アドレスを設定する必要があります。
   →設定方法は以下を参照してください。
   USB 有線 LAN とリモートマネージャーPC を LAN ケーブルで直接接続してエスクポート

1.7 リモートマネージャーのスケジュールリストに何も表示されない

スケジュール保存先を確認します

- オーサリングソフトウェアを起動する
- ② 「ファイル」>「設定」>「スケジュール位置」で保存先を確認する
- ③ リモートマネージャーを起動する
- ④ 「ファイル」>「開く」で手順②で確認した保存先を指定する
- 1.8 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」でデバイス名を表示しない、表示してもすぐ消える

リモートマネージャーPC のファイアウォール設定を確認します

- リモートマネージャーのインストール手順で設定に漏れがないか確認する
   <u>リモートマネージャーをパソコンに設定する</u>
   Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、手動で「受信の規則」「送信の規則」の追加設定されていないと本トラブルが発生する場合があります。設定が完了しているかどうか確認してください。
- メディアプレーヤーの設定に漏れがないか確認する MP-02のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する
- 1.9 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」で以前は表示していたデバイス名が表示されなくなった

リモートマネージャーPC のファイアウォール設定を確認します

- リモートマネージャーのインストール手順で設定に漏れがないか確認する
   <u>リモートマネージャーをパソコンに設定する</u>
   Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、手動で「受信の規則」「送信の規則」の追加設定されていないと本トラブルが発生する場合があります。設定が完了しているかどうか確認してください。
- メディアプレーヤーの設定に漏れがないか確認する MP-02のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する
- ③ ルーターに接続できているか確認する
- ④ メディアプレーヤーの設定メニューでリモートマネージャーの IP アドレスを再登録する
- ここまでの確認手順で回避されない場合は以下を試してください。この操作をした場合、メディアプレーヤー側でリモートマネージャーの IP アドレス登録が再度必要になりますのでもれなく設定してください。
- ⑤ リモートマネージャー側の設定ファイルを作り直す
   以下を参照してください。
   リモートマネージャーの設定情報を作り直す
- 1.10 リモートマネージャーでエクスポートするとエラーになる

作成したスケジュールの総ファイル数が151個以上の場合、エクスポートに失敗することがあります。 再エクスポートしても再現する場合は、オーサリングソフトウェアでエクスポートに失敗するスケジュールのプログラムに設定されている メディア数を編集して(減らして)エクスポートできるか確認してください。 1.11 MP-02 で再生できない

MP-02 の日時設定が不正の場合、作成したスケジュールで再生せず「黒画面(何も表示しない)」や「スケジュールがありません。メモリー カードを確認してください。」を表示するときがあります。MP-02 の日時設定の確認、および作成したスケジュール内容を確認します。 (参考: MP-02 が表示するメッセージについては、MP-02 が全画面表示するメッセージ で表示条件などを説明しています)

- ① 「設定メニュー」>「日時の設定」をクリック
- ② 日付と時間が正しくない場合は手動で値を変更、または NTP サーバーを選択(※NTP サーバーに同期できる環境が必要です)して「OK」を クリック

→設定した情報を有効にするためメディアプレーヤーが自動的に再起動します。

「設定メニュー」>「日時の設定」で日付と時間が正しいか確認する。

続けて、作成したスケジュールデータが再生できる日付・時間に設定されているかどうか確認します。

作成したスケジュールデータをオーサリングソフトウェアで開いて以下を確認します。

- ③ プログラム時間長に対してサブウィンドウ時間長内にメディアデータが設定されているかどうか
- ④ 予定表に設定したプログラムが再生したい時間帯に設定されているかどうか
- ⑤ 設定した予定表が再生したい日付に設定されているかどうか

→詳しい操作手順についてはオーサリングソフトウェアのヘルプを参照してください。

- 1.12 複数の MP-02 で同一スケジュールが同時に切り替わらない(プログラムが同時に切り替わらない) 複数の MP-02 での同期再生はサポートしていません。
- 1.13 電源ランプが点灯しているのに画面になにも表示されていない
- ① 番組が表示される時間かどうか確認してください。
- ② マウスを使ってダブルクリックで MP-02 の設定メニュー画面を表示し、MP-02 本体の時間設定が正しいかどうか確認してください。
   時間が正しければ「システムのシャットダウン」を選択して、シャットダウン後に電源を入れなおしてください。
   設定メニュー画面が表示されない場合は、電源ボタンを電源ランプが消えるまで長押ししてください。(約 10 秒)
   もし電源ランプが消えなかったときは AC アダプターを抜き差しして電源を入れなおしてください。

#### 2. 制限事項

- 2.1 オーサリングソフトウェア
- ビデオウィンドウの積み重ね順序を変更することはできません。ビデオウィンドウは常に最背面で再生されます。
- 作業可能な最小解像度は 800×600 です。推奨解像度は 1366×768 です。システムによっては、高解像度の画像を表示できません。
- 【プレビュー】サブ画面を開いたままウィンドウのサイズを変更すると、【プレビュー】サブ画面が閉じます。
- 高いフレームレートの動画ファイルを使用した場合、動画再生に乱れが生じることがあります。動画のフレームレートは 30 フレーム以下を推奨 します。
- ボタンの色は以下のように変化します。

ボタンの色	説明
保存	選択されているときのボタンの色
破棄	選択されていないときのボタンの色
キャンセル	マウスがボタンに重なっているときの色。

- 同時に配置できるメディアファイルの数は(音声ファイルを除き)5個です。音声ファイルを1個含める場合には、メディアファイルが6個まで 配置することができます。
- 動画ファイルは最大1個また音声ファイルは最大1個配置することができます。動画ファイルと音声ファイルは排他で配置することができます。
- テロップは最大 2 個配置することができます。
- 画像は最大5個配置することができます。

2.2 MP-02(リモートマネージャー、メディアプレーヤー)

- 無線ルーターにネットワーク接続する場合、ルーターのネットワーク名(SSID)の文字数は 31 文字以下としてください。また使用する文字は半角 英数文字で設定してください。
- 表示されるメディアのウインドウサイズは変更できません。オーサリングソフトウェアで設定してください。
- メディアプレーヤーでは、オーサリングソフトウェアで作成されたメディアパッケージ(スケジュールパッケージ)のチャンネル1のみ使用できます。
- MP-02 デバイスでメディアを再生するにはメディアパッケージ(スケジュールパッケージ)の保存されたメモリーカードが必要です。
- メディアパッケージ(スケジュールパッケージ)の破損などの問題があると、メディアプレーヤーで再生することができません。ログで詳細を確認 することができます。ログの詳細は「取扱説明書 MP-02」の「5.2 ログの表示」を参照してください(取扱説明書はリモートマネージャーの 「ファイル」 > 「ヘルプ」から参照できます)。
- 配信に利用するリモートマネージャーをインストールしたパソコンは、MP-02 と同一ネットワーク上で一台にしてください。

#### 3. リモートマネージャーをパソコンに設定する

#### 3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする



3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について

リモートマネージャーインストール完了後にリモートマネージャーが自動起動します。インストールするパソコンのファイアウォールが 有効設定されている場合、以下の「Windows セキュリティの重要な警告」を続けて表示します。

「プライベート ネットワーク、パブリック ネットワーク」 をチェックして「アクセスを許可する」 をクリックしてください。

→「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」の受信規則に「RemoteManager」が追加されます。

すべてのパブリック きのいくつかがブ[	7 ネットワークとプライベー コックされています。	トネットワークで、Windows ファイアウォールにより Remote Manager の機	
ri	31 名前( <u>N</u> ):	Remote Manager	
	発行元(P):	NEC Display Solutions.	
	パス( <u>H</u> ):	C:¥program files¥nec display solutions¥remote manager ¥remotemanager.exe	
Remote Manag	er にこれらのネットワーク	7上での通信を許可する:	
☑ ブライベー ☑ パブリック	トネットワーク (ホームネ ネットワーク (空港、喫う なネットワークは多くの場	ットワークや社内ネットワークなど)(B) 等店など) (非推奨)(U) 合、セキュリティが(氏いかセキュリティが設定されていません)	

🔗 ローカル コンピューター のセキュリテ	の受信の規則	操作									
<ul> <li>         委信の規則          登信の規則         送信の規則         接続セキュリティの規則         、         製         監視      </li> </ul>	名前	グループ	<mark>プロファイル</mark>	有効	操作	優先	プログラム	ローカル アドレス	IJ <del>1</del> - ^	受信の規則	•
	🖉 Remote Manager		プライベート,	はい	許可	いいえ	C:¥progr	任意	任意	🚉 新しい規則	
	🔇 Remote Manager		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥progr	任意	任意	▼ プロファイルでフィルター	•
	🔮 リモートマネージャ受信規則		すべて	はい	許可	いいえ	任意	任意	任意		
	🔮 AllJoyn ルーター (TCP 受信)	AllJoyn ルーター	ドメイン、プ	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	₩ 状態でノイルター	
	🔮 AllJoyn ルーター (UDP 受信)	AllJoyn ルーター	ドメイン, プ	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	▼ グループでフィルター	•
	BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)	BranchCache - コンテンツ取得	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	表示	•
	BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	BranchCache - ピア検出 (WS	すべて	いいえ	許可	いいえ	%system	任意	ローナ		
	BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HT	BranchCache - ホスト型キャッ	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	国  国  新  の  情  報  に  更  新	
	Ø Delivery Optimization (TCP-In)	Delivery Optimization	すべて	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	📄 一覧のエクスポート	
	Delivery Optimization (UDP-In)	Delivery Optimization	すべて	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	2 ANJ	
	🔮 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー	プライベート	はい	許可	いいえ	System	任意	D-7		
		DIAL TOLAN, #-10-	KYAN	(HIN	<b>5</b> 年 市1	ININ <del>7</del>	Surtam	任音	任音♥	Remote Manager	<b></b>
<	> <								>		

「Windows ファイアウォール」の詳細設定 > 受信の規則で内容確認・変更可能です。

 ・「Windows ファイアウォール」が無効設定されている場合、本ポップアップを表示しない場合があります
 →その場合は「Windows ファイアウォール」を有効にしてからリモートマネージャーを再インストールするか、手動で 受信規則を追加してください。

「Windows セキュリティの重要な警告」が表示されない時はリンク先を参照して手動設定可能です。

「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する(TCP 編)

「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する(UDP 編)

3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する

設定方法はリンク先を参照ください。

<ul> <li></li></ul>	dows ファイアウォール ヘルレプ( <u>H)</u> 町	• Administ	rator 権限0	つある	るアナ	ウン	トで設け	定してく†	<i>ぎ</i> さい				-		×
🎡 ローカル コンピューター のセキュ	受信の規則												操作		
100 受信の規則 11 (古の規則)	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先	プログラム	ローカル アドレス	リモート アドレス	<i>ว</i> ํอトコル	ローカル ポート	<u>IJ</u> ; ^	受信の規	則	• ^
込信の規則   よ信の規則	<ul> <li>✓ Remote Manager</li> <li>✓ Remote Manager</li> <li>✓ リモートマネージャ受信規則</li> </ul>		プライベート, パブリック	はい	許可	いいえ	C:¥progr	任意	任意	TCP	任意	任	🧱 新し	い規則	
> 見 監視			プライベート, パブリック	はい	許可	いいえ	C:¥progr	任意	任意	UDP	任意	任	70-	77/11/	÷.
			すべて		許可		任意	任意	任意	ТСР	8888	任			
	🔮 AllJoyn ルーター (TCP 受信)	AllJoyn ルーター	ドメイン, プライベート	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	TCP	9955	任	1 7 次期	С.Я	<u>۲</u>
	🔮 AllJoyn ルーター (UDP 受信)	AllJoyn ルーター	ドメイン、プライベート	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	UDP	任意	任	V 51-	-プでフ	•
	BranchCache コンテンツ取得	BranchCache - コンテンツ	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	TCP	80	任	表示	ŧ	
	BranchCache ピア検出 (WS	BranchCache - ピア検出	すべて	いいえ	許可	いいえ	%system	任意	ローカル サブネット	UDP	3702	任	- 8m	(DIF	
	BranchCache ホスト型キャッ	BranchCache - ホスト型キ	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	TCP	80, 443	任	Q 取新	101音	
	Delivery Optimization (TCR	Delivery Optimization	すべて	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	TCP	7680	任	1 一覧	のエク	
	Delivery Optimization (UD	Delivery Optimization	すべて	はい	許可	いいえ	%System	任意	任意	UDP	7680	任。	? NIV	1	
< >	<	• • • • •	• • • •									>		+	~
, ,												,	11T L77	+ 254	-

#### 3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する

設定方法はリンク先を参照ください。

	• Adr	ninistra	ator	権限の	のある	らアカウ	ントで設	定してくた	どさい				- 0	>	×		
マーカル コンピューター のセ     セーカル コンピューターのセ	【 🔲 キュ 送信の規則	J													操作		_
200 受信の規則	名前		グループ	プロファイル	有効	操作	優先	プログラム	ローカル アドレス	リモート アドレス	プロトコル	ローカル ポート	リモートポート	承^	送信の規則	-	^
送信の規則 最 接続セキュリティの規	0 X5475	ルーヤ送信規則		すべて	はい	許可	いいえ	任意	任意	任意	ТСР	任意	4445	任:	🛃 新しい規則	IJ	
> 點 監視	<ul> <li>3D Buil</li> <li>AllJoyn</li> <li>AllJoyn</li> <li>AllJoyn</li> <li>Branch</li> <li>Branch</li> <li>Branch</li> <li>Candy</li> </ul>	der ルーター (TCP 送信) ルーター (UDP 送… Cache ゴンテンツ… Cache ピア検出 (… Cache ホスト型キ… Cache ホスト型キ… Crush Soda Saga	3D Builder AllJoyn JJ-9- AllJoyn JJ-9- BranchCache - J BranchCache - L BranchCache BranchCache Candy Crush Sod	すべて ドメイン, ブ ドメイン, ブ すべて すべて すべて すべて すべて	はい はい いいたえ いいい いいえ	許許許許許許許許許可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可	いいえ えいいい いいえいい いいえん たいい いいしん たいしん いいしん いいしん いいしん たいしん いいしん い	任意 %System SYSTEM %system SYSTEM SYSTEM 任意	任任任任任任任任	任意 任意 任意 日-カルサブネット 任意 任意 任意	任意 TCP UDP TCP UDP TCP TCP 任意	任意 任意 任意 任意 任意 任意 纪,443 任意	任意 任意 80 3702 80,443 任意 任意	任任任任任任任任	<ul> <li>▼ プロファイル</li> <li>▼ 状態でフィ.</li> <li>▼ グループでつ 表示</li> <li>Q 最新の情.</li> <li>■ 一覧のび</li> </ul>	· ) ) 7 ) 	
<	> Connec	ted User Experie	Diag Irack	9/(	1461	84 AJ				118				>	V=107	÷ .	~

#### 4. MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する

#### 4.1 無線 LAN を選択して接続する

MP-02 メディアプレーヤー											×
設定メニュー	ネットワーク設定	Ē									
ネットワーク設定	Wi-Fi設定	IP設定	リモートマネージャー設定								
■ ログの表示	Wi-Fiの状態										
🔁 初期化する											
日付の設定	al Se			Router_1		×					
アップデートをチェックする	al	1.64									
🕢 システムの再起動	all teaching all teaching		パスワード								
() システムのシャットダウン	all or			✔ 自動接続							
	al sec				接続	**STOL					
	al rea										
	al ees	• • •									
	al	114									
	.II Router	_1									
		① 設	定 UI を表示させ	「ネットワーク設	定 > Wi-F	i 設定」	を選択す	3		1	
	_	② 接	続したいルーター	をダブルクリック	ל						
	_	3 [	パフロードレを入っ	カリア 「白動は	主結しにチョ	ーぃノーを	・ 、 わて 「お	空結しを	לעוול		
	L	U 1.				- 9 7 2	27410011	文初近」 "と".	1999		

MP-02 メディアプレーヤー		×
設定メニュー	ネットワーク設定	
ネットワーク設定	Wi-Fi設定         IP設定         リモートマネージャー設定	
■ ログの表示	Wi-Fiの状態	
芝 初期化する	Router_1 ## 接続に成功すると接続したルーター名の横に「接続」を表示する	切服所
前 日付の設定	all so-size-	
ひ アップデートをチェックする	al	
() システムの再起動	al annual	
システムのシャットダウン	al cost	
	al entre	
	all president	
	all some answersen.	

#### 4.2 MP-02の IP アドレス等設定する

IP のコンフィグレーションが自動の場合はルーターが割り当てた各アドレスを表示します。

MP-02 メディアプレーヤー		×
設定メニュー	ネットワーク設定	
ネットワーク設定	Wi-Fi設定         IP設定         Uモートマネージャー設定	
■ ログの表示	IPのコンワイギュレーション 自動 ・	
⇒ 初期化する		
1日付の設定	197FL/2 DNS DNS1-/(-	
ひ アップデートをチェックする	192         168         11         3         192         168         11         1           977 #p.F ₹2,7         ft# DNS9-/f-         ft# DNS9-/f-         ft# DNS9-/f-         ft# DNS9-/f-	
() システムの再起動	255 255 0 7278/b/Y- P021	
<ul> <li>システムのシャットダウン</li> </ul>	192 166 11 1	
	<ul> <li>① 「IP 設定」タブをクリックして「IP コンフィグレーション」を設定する</li> <li>② 「自動」設定の場合は接続したルーターが自動的に IP アドレスを設定する</li> <li>③ 「手動」設定の場合は各アドレスを入力する</li> <li>④ 設定後、「OK」をクリックする</li> </ul>	ОК

4.3 MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャーIP アドレスを設定する

リモートマネージャーをインストールしたパソコンの IP アドレスを確認するには<u>リモートマネージャーPC の IP アドレス、MAC アドレス(物理</u>アドレス)を確認する方法を参照してください。

リモートマネージャーをインストールしたパソコンに接続が成功した場合は、リモートマネージャーの「LAN」タブ > 「LAN 接続 PC」に MP-02 デバイス名を表示します

MP-02 メディアプレーヤー		×
設定メニュー	ネットワーク設定	
ネットワーク設定	Wi-Fi設定 IP設定 Jモートマネージャー設定	
■ ログの表示	デバイス名 MP-02 Number01	
🚁 初期化する	IP7FLA 192 168 11 2	
前 日付の設定		
アップデートをチェックする		
() システムの再起動	リモード使物になりしました。	ок
システムのシャットダウン	ОК	
	<ol> <li>「デバイス名」に任意のデバイス名(ここでは「MP-02_Number01」を設定)</li> <li>「IP アドレス」にはリモートマネージャーをインストールしたパソコンの IP アドレスを設定</li> <li>「OK」をクリック</li> <li>登録が成功すると「リモート接続に成功しました。」ポップアップを表示</li> </ol>	



リモートマネージャーをインストールしたパソコンに接続できない場合は上記エラーポップアップを表示する エラー発生を回避するにはネットワークに接続している MP-02、リモートマネージャーをインストールしたパソコンのファイア ウォール設定、IP アドレスを確認する

確認方法は以下を参照してください。

<u>Windows ファイアウォール設定\_受信規則</u> Windows ファイアウォール設定\_送信規則

#### 5. リモートマネージャーでスケジュールをエクスポート(配信)する

### 5.1 スケジュールを選択してエクスポートしたい MP-02 に設定する



#### 5.2 エクスポートする

😟 リモートマネージャー				– 🗆 X
ファイル ホーム LAN				
LANでエクスポート 🛄 予約		・「スケジュールをエクスポート」 ・エクスポートが完了すると MP-02	クリックするとそれぞれの MP-02 ヘエ この横に完了アイコンと下部に完了メッ	クスポートを開始する セージを表示する
スケジュールメディアファイル	LAN接続PC			
スケジュール・サンプル	MP-02_Numb	er01  ネ	デバイスプロパティ 名前: IPアドレス: 空き容量:       デバイス予約 スケジュール名: スケジュール容量: 予約:	MP-02_Number02 192.168.11.4 1.69 GB スケジュールーサンブル 4.02 MB オフ
		スケジュール・サンブル	デノ 空き容量(90.0%)	(イス容量の詳細 使用容量(10.0%) (使用容量(10.0%) (使用容量(10.0%)
	MP-02_Number02のスケジュール(	正常にエクスポートできました。		
				スケジュールをエクスポート _→

#### 6. ネットワーク設定に関する操作手順

6.1 「Windows ファイアウォール」を有効にする方法

本機能が有効設定されていない場合、リモートマネージャーインストール直後の Windows ファイアウォール設定ポップアップを表示 しない場合があります。

設定を変更するには以下の手順で行います。

※企業内でご使用の場合、意図してファイアウォール設定を無効化して運用されている場合は、他の通信を行うアプリケーション動作に影響する ことが考えられるため関連するアプリケーションがないか、パソコン管理者やネットワーク管理者に確認してから行ってください。

なお、操作は Administrator 権限のあるアカウントで行ってください。

① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール

Windows 7717	ウォール			<u> </u>	×
$\leftrightarrow \rightarrow \uparrow \uparrow$	💡 > コントロール パネル > すべてのコントロール パネル項目 > Windows	ファイアウォール	ڻ ×	コントロール パネルの検索	R
コントロール パネル	ホーム Windows ファイアウォールによる PC の保				^
Windows ファイフ アプリまたは機能を	Windows ファイアウォールによって、ハッカーまたは悪意の ウォールを介した スを防止できるようになります。 許可	のあるソフトウェアによるインターネットまたはネットワークを経由したアクセ			
💔 通知設定の変更	ファイアウォール設定の更新				
Windows ファイフ 化または無効化	ウォールの有効 Windows ファイアウォールではコンピューターを保 めの推選設定が使用されていません。	護するた 👎 推奨設定を使用します			
一 設定値に戻す	推奨設定の詳細				
詳細設定					
ネットワークのトラン	ルシューティング プライベート ネットワーク( <u>R</u> )	接続されていません 🕑			
	ダ ゲストまたはパブリック ネットワー	ク( <u>P</u> ) 接続済み 〇			
	空港、喫茶店など、公共の場のネットワーク				
	Windows ファイアウォールの状態:	無効			
関連項目 セキュリティとメンラ	- 著信接続: ナンス	許可されたアプリの一覧にないアプリへのすべての接続をプロ ックする			
ネットワークと共有	センター アクティブなパブリック ネットワーク:	Router_1_WHR-AMPG			
					Y

・ファイアウォール設定が無効になっている状態 ・「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」をクリック

② Windows ファイアウォールの設定を確認する

₩ 設定のカスタマイズ		- 0	×
← → ~ ↑ 💣 > コントロール パネル > すべてのコントロール パネル項目 > Windows ファイアウォール > 設定のカスタマイズ	v Ö	コントロール パネルの検索	Q
各種類のネットワーク設定のカスタマイズ			
使用するネットワークの種類ごとにファイアウォール設定を変更できます。			
プライベート ネットワークの設定			
✓ Windows ファイアウォールを有効にする			
計可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての著書接続をブロックする			
○ Windows ファイアウォールが新しいアプリをブロックしたときに通知を受け取る			
● Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)			
パブリック ネットワークの設定			
♥ ○ Windows ファイアウォールを有効にする			
計可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての著信接続をプロックする			
✓ Windows ファイアウォールが新しいアプリをブロックしたときに通知を受け取る			
● Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)			
•			
OK +++>++>+			
	_		





#### 6.2 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する(TCP 編)

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック

③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する

<ul> <li>         セキュリティが弱     </li> <li>         ファイル(F) 操作     </li> </ul>	強化された Windows F(A) 表示(V) へ	ファイアウォール ルプ(H)	Administrator	~ 権限のあるアカウン	トで設定	してく	ださい		- 0	×
	新しい規則(N) プロファイルでフィルタ	-(R) >		<u>^</u>				操作		
■ 送信 ■ 接続 ■ 時期	状態で거ルター(S) グループでフィルター(G	5) >	anager anager	グループ	プロファイル プライベート, プライベート,	有効 はい はい	操作 <b>^</b> 許可 許可	受信の規則		• ^
	武新の情報に更新(     一覧のエクスポート(     ヘルプ(H)	F) _)	-ター (TCP 受信) -ター (UDP 受信) the コンテンツ取得 (HTTP-受信)	AllJoyn ルーター AllJoyn ルーター BranchCache - コンテンツ取得	ドメイン, プ ドメイン, プ すべて	はい はい	許可 許可 許可	<ul> <li>▼ 状態でフィルター</li> <li>▼ グループでフィルター</li> </ul>	-	•
		BranchCa BranchCa Delivery C	che ピア検出 (WSD-受信) che ホスト型キャッシュ サーバー (HT )ptimization (TCP-In)	BranchCache - ピア検出 (WS BranchCache - ホスト型キャッ Delivery Optimization	すべて すべて すべて	いいえ いいえ はい	許可許可許可	表示      最新の情報に更新      ー      モデ      ー      ロロクスポート…		•
		O DIAL プロト O DIAL プロト O DIAL プロト	ッコルサーバー (HTTP 受信) -コルサーバー (HTTP 受信) -コルサーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー DIAL プロトコル サーバー DIAL プロトコル サーバー	プライベート ドメイン オバブ	はいはい	許可許可許可	○ ヘルプ AllJoyn ルーター (TCP 受)	(言)	•
		Groove ミ: iSCSI サーと iSCSI サーと MDNS (UI	1-ジック 같ス (TCP 受信) 같ス (TCP 受信) DP 受信)	Groove ミュージック ISCSI サービス ISCSI サービス mDNS	ドメイン, ブ プライベート, ドメイン すべて	はい いいえ いいえ はい	計可 許可 許可 許可 許可 ➤	<ul> <li>規則の無効化</li> <li>切り取り</li> <li>コピー</li> </ul>		
< 新しい規則(N)	>	<				1	>	│業 削除		~

④ 「カスタム」を選択して「次へ」をクリック

● 新規の受信の規則ウィザー	ĸ	×
規則の種類 作成するファイアウォールの規則	の種類を選択してください。	
<ul> <li>入テップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>スコープ</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	どの種類の規則を作成しますか?	

(5)	「このプログラムのパス」を選択して、	「参照」をクリック
-----	--------------------	-----------

新規の受信の規則ウィザ−ド		×
<b>プログラム</b> この規則が一致するプログラムのデ	E全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>スコープ</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ● <b>すべてのプログラム(A)</b> 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ● <b>このプログラムのパス(T):</b> ● <u>こや</u> プロガラムのパス(T): ● <u>こや</u> プロガラムのパス(T): ● <u>こや</u> プロガラムのパス(T): ● <u>こや</u> プロガラムのパス(C): ● ひかん(D) ひかん(D) ひかん(D) たい(D)	×

#### a.「開く」で「RemoteManager.exe」を選択

・32bit OS の場合「C¥:Program Files¥NEC Display Solusions¥Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択 ・64bit OS の場合「C¥:Program Files (x86)¥NEC Display Solusions¥Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択

理 マ 新しいフォルダ	L				833 -	
🛃 クイック アクセス	名前	更新日時	種類	サイズ		
	app	2017/01/22 14:02	ファイル フォルダー			
<ul> <li>OneDrive</li> </ul>		2017/01/22 14:02	ファイル フォルダー			
PC	🖳 RemoteManager.exe	2017/01/17 14:00	アプリケーション	41 KB		
*****						

```
b.「次へ」をクリック
```

● 新規の受信の規則ウィザー	ζ.	×
<b>プログラム</b> この規則が一致するプログラムの3	完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
ステック:         ブログラム         ブログラム         ブロ・フィン         決作         ブロファイル         名前	<ul> <li>すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?</li> <li>すべてのプログラム(A) 他の規則のプロパラィに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。</li> <li>のプログラムのパス(D) MProgramFilesWHCD Display Solutions¥Remote Manager¥RemoteMar 参照(P) Mr c¥pathWprogram.exe %ProgramFilesWWbrowser*browser.exe</li> <li>サービス この規則を適用するサービスを指定します。</li> </ul>	

⑥ 「プロトコルの種類」で「TCP」を選択して「次へ」をクリック

	×
ートを指定してください。	
この規則を適用するポ	ートとブロトコルを選択してください
プロトコル/D.種業質(P):	ТСР
プロトコル番号(U):	6.0
ローカル ポート(し):	すべてのポート 〜
	例:80、443、5000-5010
リモートホート(民):	すべCのホート ~
	例:80、443、5000-5010
インターネット制御メッ (ICMP)の設定:	ב-יָסָרָבוּע הַגַאָקרָגָרָ <u>כ</u> ָ
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
	ートを指定してください。 この規則を適用するポ フロトコルの種類(P): フロトコル番号(U): ローカル ポート(L): リモート ポート(B): インターネット制御メッ (LOMP)の設定:

⑦ 「この規則を適用するローカル IP アドレス を選択してください」と「この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください」で 「任意の たぷけロ 

任意の	IΡ	ア	ドレス」	を選択して	「次へ」	をクリック	

● 新規の受信の規則ウィザート	×.	×
<b>スコープ</b> この規則を適用するローカル IP :	アドレスとリモート IP アドレスを指定してください。	
ステップ		
<ul> <li>規則の種類</li> </ul>		
<ul> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびボート</li> <li>フローゴ</li> </ul>	この規則を適用するローカル IP アドレスを選択してください。 ④ 任意の IP アドレス(P) ○ これらの IP アドレス(D)	
<ul> <li>● 操作</li> </ul>		追加( <u>A</u> )
プロファイル		編集(E)_
• 名前		育叩余( <u>R</u> )
	この規則を通用するインターフェイスの種類のカスタマイズ:	カスタマイズ(山)
	この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください。 ◉ 任意の IP アドレス(Y) ○ これらの IP アドレス(出):	
		;自力D(D)
		編集(])
		育·耶余( <u>M</u> )
	< 戻る( <u>B</u> )	次へ(N)> キャンセル

⑧ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザート	×.	×
操作		
規則で指定された条件を接続が	満たす場合に、実行される操作を指定します。	
ステップ: <ul> <li>         ・規則の種類         ・     </li> </ul>	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
<ul> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> </ul>	<ul> <li></li></ul>	
<ul> <li>スコープ</li> </ul>	□ sec 210/10 CirkasCi No.380のCirkasCirk	
<ul> <li>連邦作</li> <li>プロファイル</li> </ul>	IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。 接続は、 IPsec フロパティ内の設定と接続 セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。	
● 名前	カスなマイズ(Z) 〇 接続をブロックする( <u>K</u> )	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

```
⑨ 「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック
```

● 新規の受信の規則ウイザード		×
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
<ul> <li>入テッフ:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブログラム</li> <li>ブロトコルおよびポート</li> <li>スコーブ</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか?	2)

① 「名前」に「RemoteManager」を入力して「完了」をクリック

💣 新規の受信の規則ウィザード		<
名前		
この規則の名前と説明を指定してく	ださい。	
ステップ		
● 規則の種類		
プログラム		
プロトコルおよびポート		
<ul> <li>スコープ</li> </ul>	名前(1):	
◎ 操作	Remote Manager	
プロファイル	説明 (オブション)( <u>D</u> ):	
• 名前		
	< 戻る( <u>B</u> ) 完了( <u>F</u> ) キャンセル	

#### 6.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する(UDP 編)

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック

③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する

	JVJ(H)	Administrator	・権限のあるアカウン	トで設定	してく	ださい			
新しい規則(N)									
プロファイルでフィルタ・	-(R) >						操作		
状態でフィルター(S)	>		グループ	プロファイル	有効	操作 ^	受信の規則		
グループでフィルター(G	5) >	anager		プライベート,	はい	許可	🐹 新しい規則		
最新の情報に更新()	F)	anager		プライベート,	はい	許可	▼ プロファイルでフィルター		•
ー覧のエクスポート(L	_)	-9-(TCP 受信)	AllJoyn ルーター	ドメイン, プ	はい	許可	▼ 状態でフィルター		
		-ダー(UDP 文信) - he コンテンツ取得 (HTTD-受信)	AllJoyn ルーゲー BranchCache - コンテンツ取得	トメイン, ノ	はい	許可許可	▼ グループでフィルター		
	BranchCa	ine ピア検出 (WSD-受信)	BranchCache - ピア検出 (WS	すべて	いいえ	許可	=		-
	BranchCa	iche ホスト型キャッシュ サーバー (HT	BranchCache - ホスト型キャッ	すべて	いいえ	許可			,
	🔮 Delivery 🕻	Optimization (TCP-In)	Delivery Optimization	すべて	はい	許可			
	O Delivery C	Optimization (UDP-In)	Delivery Optimization	すべて	はい	許可	■ 一覧のエクスボート…		
		▶コルサーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー	プライベート	はい	許可	パレプ		
	Coogle (	トコル サーハー (HTTP 安信) hrome (mDNS インバウンド)		TX12	1211	許可	AllJoyn ルーター (TCP 受信)		
	Groove S	ュージック	Groove ミュージック	ドメイン、プ	はい	許可	・  ・<		
	iSCSI サーと	ビス (TCP 受信)	iSCSI サービス	プライベート,	いいえ	許可	★ 七刀り取り		
	iSCSI サーと	どス (TCP 受信)	iSCSI サービス	ドメイン	いいえ	許可	אר אלג שר אלג.		
	🔮 mDNS (UI	DP 受信)	mDNS	すべて	はい	許可╰			
シャクロート	はかっれなう。 「地でフィルター(S) リープでフィルター(G) 動かの情報に更新( 一覧のエクスポート(L) Jレプ(H) >	は な し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	は	SD / D/O / D/D /	BD / 100 (100 (100 (100 ))     (100 (100 ))     (100 (100 ))     (100 (100 ))     (100 (100 ))     (100 (100 ))     (100 ))     (100 (100 ))     (100 ))     (100 )	BD J NUC (NO	CDF (N/C y / N/C y / N	はなでフィルター(S) → 小ーブでフィルター(G) → anager ガーブで、 レルズ 許可 数部の情報に更新(F) - -覧のエクスポート(L) クー(CC 受信) AllJoyn ルーター デメイソ、ブ はい 許可 クー(UDP 受信) AllJoyn ルーター ドメイソ、ブ はい 許可 -ター(UDP 受信) BranchCache - コンテンツ取得 すべて いいえ 許可 BranchCache ビア検出 (WSL-受信) BranchCache - ボスト型キャッ すべて いいえ 許可 - Delivery Optimization (UDP-In) Delivery Optimization すべて はい 許可 - O DIAL プロトコル サー/(- (HTTP 受信) DIAL プロトコル サー/(- - デオペート, いいえ 許可 - SCSI サービス (TCP 受信) iSCSI サービス ブライペート, いいえ 許可 - NUN - SCSI サービス (TCP 受信) iSCSI サービス ブライペート, いいえ 許可 - RUNOM	Control (Northon (Nort

④ 「カスタム」を選択して「次へ」をクリック

規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
(作成するファイアウォールの規則)( ステップ: 規則の種類 フログラム フロトコルおよびポート スコーブ 操作 ラロアイル クロディル	<ul> <li>         どの種類の規則を作成しますか?         <ul> <li>             プログラム(P)             プログラムの接続を制御する規則です。             </li> <li>             ポート(Q)             TCP または UDP ポートの接続を制御する規則です。             </li> <li>             本前定義(F):         </li> </ul> </li> </ul>	
● 名前	AllJoyn ルーター         Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。         クスタム(C)         カスタムの規則です。	
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル	1

(5)	「このプログラムのパス」を選択して、	「参照」をクリック
-----	--------------------	-----------

新規の受信の規則ウィザ−ド		×
<b>プログラム</b> この規則が一致するプログラムのデ	E全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>スコープ</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ● <b>すべてのプログラム(A)</b> 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ● <b>このプログラムのパス(T):</b> ● <u>こや</u> プロガラムのパス(T): ● <u>こや</u> プロガラムのパス(T): ● <u>こや</u> プロガラムのパス(T): ● <u>こや</u> プロガラムのパス(C): ● ひかん(D) ひかん(D) ひかん(D) たい(D)	×

#### a.「開く」で「RemoteManager.exe」を選択

・32bit OS の場合「C¥:Program Files¥NEC Display Solusions¥Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択 ・64bit OS の場合「C¥:Program Files (x86)¥NEC Display Solusions¥Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択

理 新しいフォルタ	<i>1</i>				8== •	
♪ クイック アクセス	名前	更新日時	種類	サイズ	[2]==	
	app	2017/01/22 14:02	ファイル フォルダー			
OneDrive	📑 runtime	2017/01/22 14:02	ファイル フォルダー			
PC	🖳 RemoteManager.exe	2017/01/17 14:00	アプリケーション	41 KB		
> ネットワ−ク						

b.「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザ−	ŕ	X
ー <b>プログラム</b> この規則が一致するプログラムの	完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロゲラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>スコープ</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?         ・ すべてのプログラム() 他の規則のプロパラィ(こー致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。         ・ このプログラムのパス(T):         「MProgramFilesWHEC Display Solutions¥Remote Manager¥RemoteMar 参照(R) 例 C*Path¥program.exe %ProgramFilesWHorowser*Worowser exe         サービス この規則を適用するサービスを指定します。	

⑥ 「プロトコルの種類」で「UDP」を選択して「次へ」をクリック

🔐 新規の受信の規則ウィザート	7	×
<b>プロトコルおよびポート</b> この規則を適用するプロトコルとオ	ペートを指定してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびボート</li> <li>スコーブ</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則を適用するポ プロトコルの種類(P): プロトコル番号(U): ローカルポート(L): リモートポート( <u>R</u> ): インターネット制御メッ (ICMP)の設定:	-トとプロトコルを選択してください UDP ✓ 17 ☆ すべてのポート ✓ 例: 80、443、5000-5010 すべてのポート ✓ 例: 80、443、5000-5010 セージ プロトコル カスタマイズ(①)
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑦ 「この規則を適用するローカル IP アドレス を選択してください」と「この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください」で 「任意の י דע גיי 

任意の	IΡ	ア	ドレス	を選択して	「次へ」	をクリック	

新規の受信の規則ウィザード			×
<b>スコープ</b> この規則を適用するローカル IP ア	ドレスとリモート IP アドレスを指定してください。		
ステップ:			
<ul> <li>規則の種類</li> </ul>			
<ul> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> </ul>	この規則を適用するローカル IP アドレスを選択してください。 ④ 任意の IP アドレス(P)		
<ul> <li>スコープ</li> </ul>	○ これらの IP アドレス(I):		
• 操作		isho( <u>A</u> )	
● プロファイル		編集( <u>E</u> )	
• 名前		育耶涂( <u>B</u> )	
	この規則を適用するインターフェイスの種類のカスタマイズ:	カスタマイズ(山)	
	この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください。		
		追加( <u>D</u> )	
		編集(1)	
		育耶余( <u>M</u> )	
	< 戻る(B)	次へ(N)> キャンセ	11

⑧ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

🔗 新規の受信の規則ウイザート	с	×
操作		
規則で指定された条件を接続が	満たす場合に、実行される操作を指定します。	
ステップ: <ul> <li>         ・規則の種類     </li> </ul>	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
<ul> <li>プログラム</li> <li>プロトコルおよびポート</li> </ul>	● 接続を許可する(A) IPsecを使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。	
<ul> <li>スコープ</li> <li>操作</li> </ul>	セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C) IPsecを使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsecプロパティ内の設定と接続 やちっしてお押しいといたの利用が使用して、サキュしたく認識されきます。	
<ul> <li>クロファイル</li> <li>▲ 名前</li> </ul>	カスタマイズ(Z) ○ 接続をブロックする(K)	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

```
⑨ 「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック
```

● 新規の受信の規則ウイザード		×
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
<ul> <li>入テッフ:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブログラム</li> <li>ブロトコルおよびポート</li> <li>スコーブ</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか?	2)

① 「名前」に「RemoteManager」を入力して「完了」をクリック

新規の受信の規則ウィザ−ド	Х
名前 この規則の名前と説明を指定して	にださい。
<ul> <li>ステッナ:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブログラム</li> <li>ブロトコルおよびポート</li> <li>スコーブ</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	名前( <u>N</u> ): RemoteManager! 説明 (オブション)( <u>D</u> ): (戻る( <u>B</u> ) 完了( <u>F</u> ) キャンセル

#### 6.4 「Windows ファイアウォール設定」で受信規則を手動追加する

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定 を開く
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック

③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する

	イが強化された Windows 操作(A) 表示(V) へ	s ファイアウォール ・ Administrate	or 権限のあるアカウン	・トで設定	してくけ	ごさい		×
<ul> <li>マーカル</li> <li>受信</li> </ul>	新しい規則(N) プロファイルでフィルタ	7-(R) >					操作	
器 送信 ★ 接続 ■ 時期	び服でノイルター(5) グループでフィルター(0	G) > anager anager	クループ	フロファイル プライベート, プライベート,	有効 はい はい	操作 ^ 許可 許可	安信の規則	
	田前の首報に更新     日報に更新     ロー覧のエクスポート(I     ヘルプ(ロ)     ヘルプ(ロ)	(r) -ター (TCP 受信) -ター (UDP 受信) -ター (UDP 受信)	AllJoyn ルーター AllJoyn ルーター BranchCache - コンテンツ取得	ドメイン, プ ドメイン, プ すべて	はいはい	許可 許可 許可	<ul> <li>▼ 状態でフィルター</li> <li>▼ 状態でフィルター</li> <li>▼ グループでフィルター</li> </ul>	
	· (i/) (ri)	BranchCache ピア検出 (WSD-受信) BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HT.,	BranchCache - ピア検出 (WS BranchCache - ポスト型キャッ Delivers Octimization	すべてすべて	いいえいいえ	。 許可 許可	<ul> <li>表示</li> <li>3 最新の情報に更新</li> </ul>	•
		C Delivery Optimization (TCP-In) C Delivery Optimization (UDP-In) C DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	Delivery Optimization Delivery Optimization DIAL プロトコル サーバー	すべて プライベート	はいはい	許可許可	<ul> <li>         → 一覧のエクスポート…         </li> <li>         へルプ         </li> </ul>	
		<ul> <li>✓ DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)</li> <li>✓ Google Chrome (mDNS インパウンド)</li> <li>✓ Groove ミュージック</li> </ul>	DIAL プロトコル サーバー Google Chrome Groove ミュージック	ドメイン すべて ドメイン, プ	はい はい はい	許可 許可 許可	AllJoyn ルーター (TCP 受信) ● 規則の無効化	
		iSCSI サービス (TCP 受信) iSCSI サービス (TCP 受信)	iSCSI サービス iSCSI サービス mDNS	プライベート, ドメイン	いいえいいえ	許可 許可	√ 切り取り ≧ コピー	
< 新しい規則(N)	>		munis	911	1401	a⊤ PJ * >	🗙 削除	~

④ 「ポート」を選択して「次へ」をクリック

● 新規の受信の規則ウイサート		×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	)種類を選択してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	どの種類の規則を作成しますか?	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

5 [T	CP」を選択、	「特定のローカルポート」	を選択して「8888	」を入力後に	「次へ」	をクリック
------	---------	--------------	------------	--------	------	-------

💣 新規の受信の規則ウィザード	2	×
プロトコルおよびポート		
この規則を適用するプロトコルとポ	ペートを指定してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>フロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか? ④ TCP(J) ④ UDP(J) すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てください。 ④ すべてのローカル ポート(A) ④ 特定のローカル ポート(S): 8888 例: 80、443、5000-5010	
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセ	91

⑥ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

💣 新規の受信の規則ウィザー	Ŕ	×
操作		
規則で指定された条件を接続が	満たす場合に、実行される操作を指定します。	
ステップ:		
<ul> <li>規則の種類</li> </ul>	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
プロトコルおよびポート	● 接待を許可する(A)	
● 操作	IPsecを使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。	
プロファイル	○ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する( <u>C</u> )	
<ul> <li>名前</li> </ul>	IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec ブロパティ内の設定と接続 セキュリティ規則リード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。 カスクマイズ(2) () 接続をブロックする( <u>K</u> )	
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	,

```
⑦ 「ドメイン」、「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック
```

💣 新規の受信の規則ウィザート		×
プロファイル この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
ス <del>テップ</del> :		
<ul> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	<ul> <li>この規則はいつ適用しますか?</li> <li>□ ドメイン(D)         <ul> <li>コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。</li> <li>□ ブライベート(P)             <ul></ul></li></ul></li></ul>	
	○ パンララうして コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセ	04

⑧ 「名前」に規則名(名前の記載内容は任意)を記入して「完了」をクリック

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
名前		
この規則の名前と説明を指定してく	ださい。	
ス <del>テップ</del> :		
● 規則の種類		
プロトコルおよびポート		
● 操作		
วิธวราน	名前(N):	
● 名前	リモートマネーシャー 又信視知	
	説明 (オプション)(D):	
	< 戻る(B) 完了(E) キャンセル	

#### 6.5 「Windows ファイアウォール設定」で送信規則を手動追加する

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定 を開く
- ② コンソールツリーの「送信の規則」をクリック

③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の送信の規則ウィザード」で送信の規則を追加する

🔐 セキュリ	ティが強化された Windows	・ファイアウォール ・Administrate	or 権限のあろアカウ <sup>、</sup>	ノトで設定	יויל	てださい		×
)71)v(F)	操作(A) 表示(V) ハ 新しい規則(N)				.0.0.			
	プロファイルでフィルタ	'-(R) >		dara da	<b>.</b>		操作	
🔀 送信	び服でメルター(5) グループでフィルター(6	G) > -	クループ 3D Builder	プロファイル すべて	有効はい	操作 ^ 許可	送信の規則 新しい規則…	
> 🔜 監視	最新の情報に更新 一覧のエクスポート(I	(F) - ター (TCP 送信) - ター (UDP 送信) L) わき フンテンツ取得 (HTTP,送信)	AllJoyn ルーター AllJoyn ルーター BranchCache - コンテンツ取得	ドメイン, ブ ドメイン, ブ すべて	はい	許可許可許可	<ul> <li>プロファイルでフィルター</li> <li>▼ 状態でフィルター</li> </ul>	*
	ヘルプ(H)	ine ピア検出 (WSD-送信) he ピア検出 (WSD-送信) BranchCache ホスト型キャッシュ クライアント (	BranchCache - ピア検出 (WS BranchCache - ボスト型キャッ	すべてすべて	いいえいいえ	許可許可	▼ グループでフィルター まテ	<u>-</u>
		BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HT ② Candy Crush Soda Saga ③ Cannected Liser Experiences and Telemeth	BranchCache - ホスト型キャッ Candy Crush Soda Saga	すべて すべて すべて	いいえ はい	許可 許可 許可	<ul> <li></li></ul>	
		<ul> <li>Groove ミュージック iSCSI サービス (TCP 送信)</li> </ul>	Groove ミュージック iSCSI サービス	すべて ドメイン	はい いいえ	。 許可 許可	<ul> <li>ヘルプ</li> <li>コンクロードは</li> </ul>	
		iSCSI サービス (TCP 送信) ダ mDNS (UDP 送信)	iSCSI サービス mDNS	プライベート, すべて	いいえ はい	許可許可	3D Builder ● 規則の無効化	
		Media Center Extender - qWave (TCP 送信) Media Center Extender - qWave (UDP 送 Media Center Extender - RTSP (TCP 送信)	) Media Center Extender Media Center Extender Media Center Extender	すべて すべて すべて	いいえ いいえ いいえ	許可 許可 許可 ➤	√ 切り取り □ ピー	
< 規則の無効(	> 2(1)	<			1	>	🗙 削除	~

④ 「ポート」を選択して「次へ」をクリック

規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	)種類を選択してください。	
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	どの種類の規則を作成しますか? ・ <b>クログラム(P)</b> プログラムの接続を制御する規則です。 ・ <b>の ホート(O)</b> TCP または UDP ポートの接続を制御する規則です。 ・ <b>の 新前定義(E)</b> Mildoyn ルーター Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。 ・ <b>カスタム(C)</b> カスタムの規則です。	
	< 戻る(B) <b>次へ(N) &gt; キャンセル</b>	]

⑤ IICP」を選択、「特定のリモートホート」を選択して「4445」を人刀後に「次へ」を	をクリック
--	-------

この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。		
<ul> <li>この規則を適用するプロトコルとポ</li> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびボート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	-トを指定してください。 TCP と UDP のどちらにこの規則を近 ● TCP(1) ● UDP(U) すべてのリモート ポートと特定のリモ・ ○ すべてのリモート ポート(A) ● 特定のリモート ポート(S):	箇用しますか? -ト ポートのどちらにこの規則を適用しますか? 【4445 【例: 80、443、5000-5010	
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャン	セル

#### ⑥ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

💣 新規の送信の規則ウィザート		×
操作		
規則で指定された条件を接続が	満たす場合に、実行される操作を指定します。	
ステップ		
● 規則の種類	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
プロトコルおよびポート	<ul> <li>         ・</li></ul>	
◎ 操作	IPsecを使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。	
プロファイル	○ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)	
• 名前	Proceを使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsoc プロパティ内の設定と接続 セキュリティ規則リード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。	
	○ 接続をブロックする( <u>K</u> )	
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	

```
⑦ 「ドメイン」、「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック
```

₩ 新規の送信の規則ウィザート		×
プロファイル		
この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
2		
<ul> <li>ステゥフ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか?	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンオ	2)1

⑧ 「名前」に規則名(名前の記載内容は任意)を記入して「完了」をクリック

💣 新規の送信の規則ウィザード	:	×
名前		
この規則の名前と説明を指定してく	(ださい。	
ステップ:		
● 規則の種類		
● プロトコルおよびポート		
建作		
プロファイル	名前(1):	
◎ 名前	メディアクレーマーンに言規則	
	説明 (オプション)(D):	
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセル	

6.6 リモートマネージャーPCの IP アドレス、MAC アドレス(物理アドレス)を確認する方法

Wi-Fi でネットワーク接続の場合

GE コマンド プロンプト	-	×
Vireless LAN adapter Wi-Fi:		^
接続固有の DNS サフィックス		

有線 LAN でネットワーク接続の場合

בעטל אַראָר גער גער גער גער גער גער גער גער גער גע	-	×
イーサネット アダプター イーサネット:		^
接続固有の DNS サフィックス : 900 物理アドレス		I
Netbios over fur/ir		~

- ・リモートマネージャーをインストールしたパソコンで「コマンドプロンプト」を起動する
- ・「ipconfig /all」を入力して Enter キーを押下する
- ・Wi-Fi 接続の場合は「Wireless LAN adapter Wi-Fi」を参照する
- ・有線 LAN 接続の場合は「イーサネット アダプター イーサネット」を参照する
- ・IP アドレスは「IPv4 アドレス」の値を確認する
- ・MACアドレスは「物理アドレス」の値を確認する



- ・リモートマネージャーをインストールしたパソコンで「コマンドプロンプト」を起動する
- ・「arp-a」を入力して Enter キーを押下する
- ・一番上の「インターフェイス:」の IP アドレスはリモートマネージャーをインストールしたパソコンの IP アドレス
- ・この例では「192.168.11.1」はデフォルトゲートウェイの IP アドレス
- ・この例では「192.168.11.3」は MP-02\_Number01 の IP アドレス、および MAC アドレス
- ・この例では「192.168.11.10」は MP-02\_Number02 の IP アドレス、および MAC アドレス
- 6.8 同一ネットワークの MP-02 の登録名表示例

(ルーター経由で接続したリモートマネージャーをインストールしたパソコン上の表示)

ルーターに MP-02 を 2 台接続している場合(MP-02 デバイス名は「MP-02\_Number01」と「MP-02\_Number02」としています

🕺 リモートマネージャー			- 🗆 X
ファイル ホーム LAN			
LAN (7) 7	時 <b>一</b> (一)		
スケジュールメディアファイル	LAN接続PC		
スケジュール・サンブル	▶         ■         MP-02_Number01         ¬         ◆           ▶         ■         MP-02_Number02         ¬         ◆	デバイスプロパティ 名前: IPアドレス: 空き容量: デバイス予約 スケジュール名:	MP-02_Number01 192.168.11.3 7.23 GB スケジュールなし
		スケジュール容量: 予約:	0 MB オフ
		デバ 空き容量(98.0%)	51ス容量の詳細 使用容量(2.0%)
		<ul> <li>호종률</li> </ul>	(98.0%) 🔴 使用容量(2.0%)
			スケジュールをエクスポート []
		四レナノださい	

登録した MP-02 デバイス名が表示しても消えてしまう場合は以下を参照してください。

→「リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」でデバイス名を表示しない、表示してもすぐ消える」、

「リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」で以前は表示していたデバイス名が表示されなくなった」

- 6.9 リモートマネージャーの設定情報を作り直す
  - ① リモートマネージャーをインストールしたパソコンで、タスクマネージャを起動する (ESC+Shift+Ctrl)
  - ② プロセスタブを選択して、RemoteManajer を選択して「タスク終了」をクリック
  - ③ エクスプローラーを起動して c:¥Users¥User\_Name¥Remoto Manager¥ を開く
  - ④ RemoteManagerFiles フォルダを削除する
  - ⑤ リモートマネージャーを起動する(1回目の起動でバックグラウンド起動、2回目の起動で UI 画面を表示します)
  - ⑥ MP-02 設定 UI でリモートマネージャーの IP アドレスを再登録する
  - → 以下を参照して設定してください。 「MP-02のデバイス名前とリモートマネージャーIP アドレスを設定する」
- 6.10 ping コマンドでネットワーク接続確認をする方法
  - リモートマネージャーをインストールしたパソコンで、コマンドプロンプトを起動する(Windows キー +R で検索画面を表示して、cmd を入 力して実行)
  - ② 確認したい MP-02 の IP アドレスや接続しているルーターの IP アドレス情報を確認しておく
     →DHCP 設定(または自動設定)時の IP アドレス情報を確認する方法は以下を参照してください。
     DHCP 設定(自動設定)時の IP アドレスを確認する方法
  - ③ ping <確認したいデバイスの IP アドレス入力(例: 192.168.11.1) >
  - ④ Enter キー を入力
  - ⑤ 入力した IP アドレスから応答を確認する
- (例) 同一ネットワーク内で正しく応答が返る時の結果

選択C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	-	×
Microsoft Windows [Version 10.0.10586] (c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.		^
C:¥Users¥>ping 192.168.11.1		
192.168.11.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64 192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64 192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64 192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64		
192.168.11.1 の ping 統計: パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0(0% の損失)、 ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒): 最小 = 0ms、最大 = 1ms、平均 = 0ms		
C:¥Users¥ >		
		~

(例) 同一ネットワーク内で正しく応答が返らない時の結果

C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	-	×
Microsoft Windows [Version 10.0.10586] (c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.		^
C:¥Users¥     >ping 192.168.11.2		
192.168.11.2 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。		
192.168.11.2 の ping 統計: パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0(0% の損失)、		
C:¥Users¥		
		~

6.11 USB 有線 LAN とリモートマネージャーPC を LAN ケーブルで直接接続してエスクポート

USB 有線 LAN アダプター US3-HB3ETG (I-O DATA) を MP-02 に接続して Pear to Pear でエクスポートします。

① USB 有線 LAN アダプターを MP-02 に接続して、LAN ケーブルをリモートマネージャー PC の有線 LAN ポートに接続する

- ② MP-02の電源 ON する→メディアプレーヤーの設定 UI を表示する
- ③ メディアプレーヤーの設定 UI で MP-02 の IP 設定を行う
  - a.「有線 LAN 設定」で「Ethernet 接続」となっていることを確認

MP-02 メディアブレーヤー				×
設定メニュー	ネットワーク設定			
』 ネットワーク設定	有铼LAN設定	IP設定	リモートマネージャー設定	
■ ログの表示	Ethernet 乐概			
💼 初期化する				
前 日付の設定				
ひ アップデートをチェックする				
() システムの再起動				
<ul> <li>システムのシャットダウン</li> </ul>				

b.「IP 設定」で「IP のコンフィグレーション」を自動から手動に変更して各アドレス設定後、「OK」をクリックする
 例
 IP アドレス 192.168.1.10 (MP-02 の IP アドレス)
 サブネットマスク 255.255.0
 デフォルトゲートウェイ 192.168.1.20 (リモートマネージャーPC に設定する IP アドレスを設定する)
 DNS サーバー 192.168.1.20 (リモートマネージャーPC に設定する IP アドレスを設定する)

DNS サーバー192.168.1.20 (リモートマネージャーPC に設定する IP アドレスを設定する)代理 DNS サーバー192.168.1.20 (リモートマネージャーPC に設定する IP アドレスを設定する)

MP-02メディアブレーヤー						×
設定メニュー	ネットワーク設定					
山 ネットワーク設定	有線LAN設定	IP設定	リモートマネージャー設定			
■ ログの表示	IPのコンフィギュレーション 手動	*				
🚖 初期化する						
1日付の設定	IP7Fb2			₩ DNS DNS9-K-		
ひ アップデートをチェックする	192 168 1 978-25-727	10		192 165 1 代替 DNSサーバー	20	
🕢 システムの再起動	255 255 255 25 77x3-1-77x1	55 0		192 168 1	201	
<ul> <li>システムのシャットダウン</li> </ul>	192 168 1	20				
						CK
1		T	2		3	/
4			5		6	
7			8		9	←
	+		0			$\omega$

#### ④ リモートマネージャーPCのネットワーク設定を行う

#### a. コントロールパネル から「ネットワークと共有センター」を起動して「イーサネット」をクリックする

💺 ネットワークと共有センター				- 0	×
🗧 אין אין אין אין א אין א דעב א 🗄 א און אין אין אין אין אין אין א און א אין א אין א און א א	パネル > すべてのコントロール パネル項目 > ネットワークと共有セン	29-	ٽ ~	コントロール パネルの検索	P
コントロール パネル ホーム	基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ	Î			
アダプターの設定の変更	アクティブなネットワークの表示				
共有の詳細設定の変更	識別されていないネ <b>ットワーク</b> パブリック ネットワーク	アクセスの種類: ネットワーク アクセスなし 接続:			
	ネットワーク設定の変更				
	新しい接続またはネットワークのセットアップ ブロードバンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセッ ットアップします。	ットアップします。 あるいは、 ルーターまたはアクセス ポイントをセ			
関連項目	問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラ	ブルシューティングに関する情報を入手します。			
Windows ファイアウォール					
インターネット オプション					
ホームグループ					

b. 「プロパティ」をクリック

的			
接続 一			
IPv4 接続:		ネットワー	ク アクセスなし
IPv6 接続:		ネットワー	ク アクセスなし
メディアの状態:			有効
期間:			00:27:02
速度:			1.0 Gbps
詳細(E)			
動作状況			
動作状況———	送信 ——		受信
動作状況 バイト:	送信 —— 3,088,212,045		受信 34,209,097

c. 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択して「プロパティ」をクリック

接続の方法: 	Connection I217-V		
この接続は次の項目を使用	用します( <u>O</u> ):	構成	(C)
<ul> <li>✓ ■ Microsoft ネット</li> <li>✓ ■ Microsoft ネット</li> <li>✓ ■ QoS パケット スケ</li> <li>✓ ■ インターネット プロ</li> <li>■ Microsoft LLDP</li> </ul>	ワーク用クライアント ワーク用ファイルとプリンタ- ジューラ トコル パージョン 6 (TCP/II プロトコル ドライパー	·共有 ₽v6)	^
▲ <u>1/9</u> -ネット 70     ▲ Link-Layer Topo     ▲	トコル パージョン 4 (TCP/I blogy Discovery Mappe	Pv4) r I/O Driver	~
インストール( <u>N</u> )	削除( <u>U</u> )	プロパ <del>ד</del>	<sup>2</sup> γ( <u>R</u> )

d. 「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレスとサブネットマスクを入力

ンターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IP)	v4)のプロパティ ×
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている きます。サポートされていない場合は、ネット ください。 〇 IP アドレスを自動的に取得する(O)	シ場合は、IP 設定を自動的に取得することがで トワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせて
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	]
IP アドレス( <u>)</u> ):	192 . 168 . 1 . 20
サブネット マスク( <u>U</u> ):	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ( <u>D</u> ):	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に耳	奴得する( <u>B</u> )
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(	<u>E):</u>
優先 DNS サーバー( <u>P</u> ):	· · · · ·
代替 DNS サーバー( <u>A</u> ):	
□終了時に設定を検証する(止)	詳細設定(⊻)
	ОК <b>+</b> +>>tル

「OK」をクリック(「イーサネットのプロパティ」、「イーサネットの状態」も同様に「OK」をクリックして閉じる 例

IP アドレス 192.168.1.20 (リモートマネージャーPC に設定する IP アドレス)

サブネットマスク 255.255.255.0

※デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの設定は不要(空白のまま)

⑤ リモートマネージャーPC でコマンドプロンプトを起動して ping で MP-02 との接続を確認する

<b>CER</b> 3777	-	×
Microsoft Windows [Version 10.0.10586] (c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.		^
C:¥Users¥ >ping 192.168.1.10		
192.168.1.10 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 192.168.1.10 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.1.10 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.1.10 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.1.10 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128		
192.168.1.10 の ping 統計: パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、 ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒): 最小 = Oms、最大 = Oms、平均 = Oms		
C:¥Users¥ >		
		~

MP-02の IP アドレスから応答が返ってくることを確認する

 ⑥ メディアプレーヤー設定 UI の「リモートマネージャー設定」で「デバイス名」を設定して、「IP アドレス」にリモートマネージャーPC の IP アドレスを設定して、「OK」」をクリックする

▲ ネットワーク設定 ■ ログの表示 = ログの表示 = 初期化する ■ 日村の設定 ① クステムの再総数 ① タステムのの外で数 ■ 日村のシンテントのサットグワン ■ 日村の設定 ■ 日村の設定 ● エーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
● ログの表示 ゴ 初期化する 目的の設定 ● アップデートをチェックする ● システムの存起動 ● ジステムのクマットダウン ● パイスを MiPaz,hogsrhogs ● パイスを 100 1 20 ● パイスを 100 1 20<
こ 初期化する IPアドレス 152 IPF
■ 目初の設定 ひ アップデートをチェックする ひ ファブデートをチェックする リモート境級に成功しました。 リモート境級に成功しました。 のK
<ul> <li>アップデートを手コックする</li> <li>リステムの再総称</li> <li>ジステムの内総称</li> <li>ジステムのクトットダウン</li> <li>OK</li> </ul>
システムの再起動         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
③ ジステムのジャットダウン のK

「リモート接続に成功しました」ポップアップを表示できればリモートマネージャー側にも設定したデバイス名を表示します

🕎 リモートマネージャー			- 🗆 X
ファイル ホーム LAN			
LANでエクスポート 🛄	子的 🗸		
スケジュールメディアファイル	LAN接続PC		
	MP-02_hogehoge	<b>デバイスプロパティ</b> 名前: IPアドレス: 空き容量:	MP-02_hogehoge 192.168.1.10 7.39 GB
		<b>デバイス予約</b> スケジュール名: スケジュール容量: 予約:	スケジュールなし 0 MB オフ
		<b>デル</b> 空き容量(100.0%)	《イス容量の詳細 使用容量(0.0%) (使用容量(0.0%)
			スクジュールをエクスポート 🕞

6.12 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法

① 現在のポリシーを確認するため、コントロールパネル から「ネットワークと共有センター」を起動する

糱 ネットワークと共有センター				_	×
← → י זעב י עבי א דעב י י אינער י י י י י י י י י י י י י י י י י י י	/パネル > すべてのコントロールパネル項目 > ネットワークと共有センター	5 ~	א-םאכב	ネルの検索	Q
コントロール パネル ホーム アダプターの設定の変更	基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ アクティブなネットワークの表示				
共有の詳細設定の変更	議別されていないネットワーク     パブリック ネットワーク     パブリック ネットワーク     おいを想えたはネットワークのセットアップ     マクセスの種類:      本ットワーク設定の変更     プロ・     新しい接続またはネットワークのセットアップ	キットワーク アクセスなし イーサネット			
關連項目	ブロードバンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、 ットアップします。 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する	ルーターまたはアクセス ボイントをセ 51唐報を入手します。			
Windows ファイアウォール インターネット オプション ホームグループ					

② コントロールパネルから「管理ツール」を起動して、「ローカルセキュリティーポリシー」を選択・起動する



③ 「選別されていないネットワーク」をダブルクリックしてプロパティを表示させて「プライベート」を選択して「OK」をクリック

ネットワークの場所によ の場所に適したファイア	り、コンピューターが接続されているネットワークの種類が識別 ウォール設定が自動的に使用されます。	別され、そ
場所の種類		
○未構成( <u>N</u> )		
●プライベート( <u>R</u> )		
○パブリック(P)		J
ユーザーのアクセス許	<b>न</b>	
●未構成( <u>0</u> )		
○ユーザーは場所を	を変更できる( <u>U</u> )	
○ユーザーは場所を	を変更できない( <u>S</u> )	

④ 「ネットワークの選別中」をダブルクリックしてプロパティを表示させて「プライベート」を選択して「OK」をクリック

ネットワークの識別中のプロパティ	×
ネットワークの場所	
ネットワークの場所により、コンピューターが接続されているネットワークの種類が識別され、そ の場所に達したファイアウォール設定が自動的に使用されます。	
場所の種類 ○ 未標成(N)	
● <u>7</u> =1∧-+( <u>B</u> )	
○パブリック(P)	
OK キャンセル 適用(A)	

⑤ 再びコントロールパネル から「ネットワークと共有センター」を起動してポリシーを確認する

💺 ネットワークと共有センター			- 1	×
איר איד	レパネル → すべてのコントロールパネル項目 → ネットワークと共有センター	5 V	コントロール パネルの検索	P
コントロール パネル ホーム アダプターの設定の変更	基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ アクティブなネットワークの表示			
共有の詳細設定の変更	歳別されていないネットワーク     プライベートネットワーク     プライベートネットワーク       たいのののののでは、ホームグループ:     作成準備完了     接続:     「     マーサネット			
	ネットワーク設定の変更 新しい接続またはネットワークのセットアップ ブロードパ(ンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイントをセ ットアップします。			
関連項目 Windows ファイアウォール インターネット オプション ホームグループ	問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。			

- 6.13 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法(Windows 8.1 / 10 編)
  - <Windows 8.1 の場合>
  - ① チャームを表示する
    - ※チャームを表示する方法

方法①デスクトップで右上隅にカーソルを移動させて表示

方法②Win キー + C で表示

- 「設定」>「PC 設定の変更」をクリック
- ③ 「ネットワーク」をクリック
- ④ 「Wi-Fi」または「イーサネット」に表示されている接続済み(未接続の場合は設定変更できない)のネットワークアイコンをクリック
- ⑤ 「デバイスとコンテンツの検索」でオフからオンに変更する
   →オンからオフに設定すると「パブリック」に設定変更されます。
  - →オフ設定は「パブリック」、オン設定は「プライベート」に設定されます。

<Windows 10 の場合>

- ① 「Windows」メニュー > 「設定」をクリック
- ② 「ネットワークとインターネット」をクリック
- ③ -1 無線接続の場合「Wi-Fi」>「詳細オプション」をクリックする
- ③ -2 有線接続の場合「イーサネット」> 「イーサネット」に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- ④ 「この PC を検出可能にする」で オフからオンに変更する
   →オンからオフに設定すると「パブリック」に設定変更されます。
  - →オフ設定は「パブリック」、オン設定は「プライベート」に設定されます。
- 6.14 DHCP 設定(自動設定)時の IP アドレスを確認する方法

<リモートマネージャーPC の場合その 1>

#### コマンドプロンプトで確認する

- ① リモートマネージャーPCの IP アドレス、MAC アドレス(物理アドレス)を確認する方法
  - ・IPv4 アドレス:リモートマネージャーPCの IP アドレス
  - ・IPv4 デフォルトゲートウェイ:リモートマネージャーが接続しているルーターのデフォルトゲートウェイアドレス

<リモートマネージャーPC の場合その 2>

コントロールパネルで確認する

- ① 「コントロールパネル」>「すべてのコントロールパネル項目」>「ネットワークと共有センター」をクリック
- ② 「アクティブなネットワークの表示」の接続(有線の場合は「イーサネット」、無線接続の場合は「Wi-Fi」)をクリック
- ③「イーサネットの状態(有線接続の場合)」または「Wi-Fiの状態(無線接続の場合)」の「詳細」をクリック
   →「ネットワーク接続の詳細」が表示されます。
- ④ 「ネットワーク接続の詳細」リストビュー内の以下の項目がそれぞれの IP アドレス情報です。
  - ・IPv4 アドレス:リモートマネージャーPCの IP アドレス
  - ・IPv4 デフォルトゲートウェイ:リモートマネージャーが接続しているルーターのデフォルトゲートウェイアドレス

<リモートマネージャーPCの場合その3>

#### リモートマネージャーで確認する

- ① リモートマネージャーPC にメモリーカード、USB メモリーを接続する
- ② リモートマネージャーを起動する
- ③ 「ホーム」 > 「My PC、メモリーカード、USB メモリー」の項②の手順で接続したメモリーをクリックする
  - ・「デバイスプロパティ」の「IP アドレス」に表示されているアドレスがリモートマネージャーPC の IP アドレス

<MP-02 の場合>

メディアプレーヤーの設定メニューで確認

- ① MP-02 の設定メニューを表示(MP-02 に USB マウスを接続して、再生中または「スケジュールがありません。メモリーカードを確認してください。」表示でダブルクリック)
- ② 設定メニューの「ネットワーク設定」をクリック
- ③ 「IP 設定」タブをクリック
  - ・「IP のコンフィグレーション」が「自動」設定で既に MP-02 がリモートマネージャーに登録完了している場合は「IP アドレス」に表示の値が MP-02 の IP アドレス(グレーアウト表示)
  - ・リモートマネージャーに MP-02 登録されていない場合はルーターに接続完了後、「自動」設定で「OK」をクリックすると、ルーターが割り当 てる IP アドレスをグレーアウトで表示
- 6.15 ローカル PC に NTP サーバーを構築してメディアプレーヤーに設定する

外部の NTP サーバーに接続できない環境で運用する場合、リモートマネージャーインストール PC 等を NTP サーバーとして使用する方法を説明 します。

<リモートマネージャーPC に NTP サーバーを構築する>

1. NTP サーバー機能を有効にする

レジストリエディターでレジストリの2つのキー値を設定変更します。

注意:レジストリ変更には十分注意して行ってください。誤って変更すると、パソコンが起動しなくなることがあります。 レジストリを変更する前にレジストリをバックアップしてください。バックアップ方法・復元方法に関してはマイクロソフト等のサイトを 確認ください。

① regedit.exe を起動する(Windows の検索機能で regedit を検索・実行します)

② 「編集」>「検索」で ntpserver を検索して変更対象キーを確認する。変更対象は以下の2つ。

検索	×
検索する値( <u>N</u> ): ntpserver	次を検索( <u>F</u> )
検索対象 ジキー( <u>K</u> ) □ 値( <u>V</u> ) □ データ( <u>D</u> )	キャンセル
□ 完全に一致するものだけを検索( <u>W</u> )	

 ${\sf HKEY\_LOCAL\_MACHINE} \\ {\sf SYSTEM} \\ {\sf FcontrolSet001} \\ \\ {\sf services} \\ {\sf W32Time} \\ \\ {\sf TimeProviders} \\ \\ {\sf NtpServer} \\ \\ {\sf N$ 

値の名前:Enabled、値のデータ:1

値の名前: AnnounceFlags、値のデータ:5

- ③ regedit.exe を終了する
- 2. NTP サーバー用のポートを設定する

Windows ファイアウォールで受信規則を追加します。

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定 を開く
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック
- ③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する

セキュリティが ファイル(F) 撮く	強化された Windows ファ 作(A) 表示(V) ヘルフ	ァイアウォール プ(H) ・ Admi	nistrator 権限のあるアカウン	ントで設定	してく	ださい	1	-	×
← ⇒ 1	新しい規則(N)								 
<ul> <li>ローバル</li> <li>受信</li> <li>試過</li> <li>送信</li> <li>注</li> <li>接彩</li> </ul>	プロファイル C ノルター(F 状態でフィルター(S) グループでフィルター(G)	x) > > anager	グループ	プロファイル プライベート,	有効 はい	操作 ^ 許可	受信の規則 愛信の規則 ご 新しい規則…		<b>^</b>
> 🛃 監視	最新の情報に更新(F) 一覧のエクスポート(L)	anager -ター (TCP 受信) -ター (UDP 受信)	AllJoyn ルーター AllJoyn ルーター TD 奈信ン Datash Carbo コンニンの取得	ノラ1ハート, ドメイン, ブ ドメイン, ブ	はいはい	許可許可	<ul> <li>▼ プロファイルでフィル</li> <li>▼ 状態でフィルター</li> <li>▼ グループでフィルター</li> </ul>	/9- -	> >
		Ine コンテンク取得 (H) BranchCache どア検出 (WSD-受 BranchCache ホスト型キャッシュ ( Delivery Optimization (TCP-In) Delivery Optimization (UDP-In)	17-交信) BranchCache - コファクタ以待 信) BranchCache - ビア検出 (WS サーバー (HT BranchCache - ホスト型キャッ Delivery Optimization Delivery Optimization	<ul> <li>すべて</li> <li>すべて</li> <li>すべて</li> <li>すべて</li> <li>すべて</li> </ul>	いいえ いいえ いいえ はい はい	許可 許可 許可 許可	<ul> <li>オンドク(シバルク 表示</li> <li>              会新の情報に更多      </li> <li>             一覧のエクスポート         </li> </ul>	新	•
		》DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受 Google Chrome (mDNS インバ Groove ミュージック	信) DIAL プロトコル サーバー 信) DIAL プロトコル サーバー ウンド) Google Chrome Groove ミュージック	プライベート ドメイン すべて ドメイン, プ	はい はい はい	許可 許可 許可 許可	<ul> <li>○ ヘルプ     AllJoyn ルーター (TCP     <li>● 規則の無効化     </li> </li></ul>	受信)	•
	> <	iSCSI サービス (TCP 受信) iSCSI サービス (TCP 受信) のDNS (UDP 受信)	iSCSI サービス iSCSI サービス mDNS	プライベート, ドメイン すべて	いいえ いいえ はい	許可 許可 許可 > >	<ul> <li>√ 切り取り</li> <li>□ピー</li> <li>※ 削除</li> </ul>		Ų

④ 「ポート」を選択して「次へ」をクリック

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
ステ <del>ップ:</del>	どの種类類の規則を作成しますか?	
<ul> <li>フロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	<ul> <li>・ クログラム(P)</li> <li>の かうしんの接続を制御する規則です。</li> <li>・ の かたくの</li> <li>一 の おたは UDP ボートの接続を制御する規則です。</li> <li>・ の か方をを(P)</li> <li>・ かけんのない ようスペリエンスのために接続を制御する規則です。</li> <li>・ の カクム(O)</li> <li>・ カクム(D)</li> <li>・ カクム(D)</li> <li>・ 大久(N) と やンけん</li> </ul>	

```
⑤ 「UDP」を選択、「特定のローカルポート」を選択して「123」を入力後に「次へ」をクリック
```

💣 新規の受信の規則ウイザード	ζ.		×
プロトコルおよびポート			
この規則を適用するプロトコルとボ	ペートを指定してください。		
えテップ			
● 規則の種類	TCP と UDP のどちらにこの規則を通	随用しますか?	
● プロトコルおよびポート	○ тср( <u>т</u> )		
● 操作	● UDP( <u>U</u> )		
● プロファイル			
● 名前	すべてのローカル ポートと特定のロー てください。	カル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し	
	○ すべてのローカル ポート( <u>A</u> )		
	◉ 特定のローカル ボート( <u>S</u> ):	123	
		例: 80、443、5000-5010	
			_
		< 戻る( <u>B</u> ) (次へ( <u>N</u> )> キャンセル	

⑥ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

🔐 新規の受信の規則ウィザ−	Ŕ	×				
操作						
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。						
ステップ						
◎ 規則の種類	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?					
プロトコルおよびポート	(A) 株装た式ゴオス(A)					
● 操作	■ INFec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。					
プロファイル	○ ヤキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)					
● 名前	<ul> <li>Psec を使用して認証された接続のかを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続 セキュリティ規則リード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。</li> <li>カスタマイズ(2)</li> <li>接続をブロックする(K)</li> </ul>					
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル					

```
⑦ 「ドメイン」、「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック
```

🔗 新規の受信の規則ウィザード		×			
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル	<b>ロファイル</b> D規則が適用されるブロファイルを指定してください。				
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか? 「 <b>ドメイン(D)</b> コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 「 <b>ブライベート(P)</b> コンピューターが自宅や職場などのブライベートネットワークに接続しているときに適用されます。 「 <b>パブリック(U)</b> コンピューターがパブリックネットワークに接続しているときに適用されます。 (反3(B) 次へ(M)  キャンセ	2.)↓			

⑧ 「名前」に規則名(名前の記載内容は任意)を記入して「完了」をクリック

💣 新規の受信の規則ウイザード		Х
名前		
この規則の名前と説明を指定してく	ください。	
ス <del>テップ</del> :		
● 規則の種類		
● プロトコルおよびポート		
● 操作		
● プロファイル	名前(N): NTP LIDP Port199	
◎ 名前		
	説明 (オブション)( <u>D</u> ):	
		_
	< 戻る( <u>B</u> ) <u>完了(E)</u> キャンセル	

⑨ 受信の規則に作成した規則が追加されます 💣 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール  $\times$ ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) 🗢 🄿 🙇 📅 🗟 🚺 🔗 ローカル コンピューター のセキュリティル 受信の規則 操作 🔣 受信の規則 <u>م</u> 名前 グループ プロファイル 有 ^ 受信の規則 🕵 送信の規則 S NTP\_UDP\_ 🗽 新しい規則... 🌆 接続セキュリティの規則 プライベート,... 🕑 RemoteManager は > 🔜 監視 プロファイルでフィルター Þ プライベート,... 🧭 RemoteManager は ▼ 状態でフィルター 🕑 RM受信規則 すべて (11 🔮 AllJoyn ルーター (TCP 受信) AllJoyn ルーター ドメイン、プ... は 🝸 グループでフィルター 🔮 AllJoyn ルーター (UDP 受信) AllJoyn ルーター ドメイン, プ... は 表示 BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信) BranchCache - コンテンツ取得... すべて N BranchCache ピア検出 (WSD-受信) BranchCache - ピア検出 (WS... すべて 5 一覧のエクスポート... **.** BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HT... BranchCache - ホスト型キャッ... すべて U. Delivery Optimization (TCP-In) Delivery Optimization すべて は ? ヘルプ Delivery Optimization (UDP-In) Delivery Optimization すべて は NTP\_UDP\_Port123 \* 🕑 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信) DIAL プロトコル サーバー ドメイン は 🔮 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信) DIAL プロトコル サーバー プライベート は 規則の無効化 🔮 Google Chrome(mDNS インパウンド) Google Chrome すべて は X 切り取り iSCSI サービス (TCP 受信) iSCSI サービス ドメイン U. Ba ⊐ピ− につい サービフ (TOD 母信) IN Y 15051 #-P7 プライバート < e. > × 削除

3. Windows Time サービス(w32time)を再起動する

管理者権限でコマンドプロンプトを起動して、w32time サービスを再起動します。以降の操作でサービス停止・開始ができずエラーとなる 場合は、管理者権限でコマンドプロンプトが起動できていない可能性があります。

① net stop 32time を入力して実行



#### ② net start 32time を入力して実行



- 4. Windows Time サービスの確認
  - サービスを起動して Windows Time サービスが実行中になっているか確認します。

必要に応じてスタートアップの種類を自動設定変更することができます。

- ① 「コントロールパネル」から「管理ツール」を起動して「サービス」を起動する
- ② サービス一覧の名前から「Windows Time」をクリックする(下の図は「実行中」で「手動 (トリガー開始)」になっています)

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
ゆービス (ローカル)     の     サービス (ローカル)	
Windows Time     ろ前     説明     状態     スタートアップの種類	^ ۱
	L
サービスの再起動	L
<u>クロスの中枢部</u> Windows Time ネットワーク上のクラ 実行中 手動 (トリガー開始)	Ľ
🥋 Windows Update Windows およびそ 手動 (トリガー開始)	L
説明:   ネットロークトのクライアントトサーバーのロー 🌼 Windows バックアップ 🛛 Windows バックアッ… 手動	L
ネットシークエのクライアントとリーハーのロ 🦓 Windows モバイル ホットスポッ 携帯データ接続を別 手動 (トリガー開始)	L
すると、日時の同期は行われなくなります。 🦓 WinHTTP Web Proxy Auto WinHTTP はクライア 実行中 手動	L
このサービスを無効にすると、このサービスに 🦓 Wired AutoConfig Wired AutoConfig 手動	L
依存しているサービスは起動できなくなりま 🤐 WLAN AutoConfig WLANSVC サービス 実行中 自動	L
9° 《 WMI Performance Adapter Windows Manage 手動	L
🥋 Work Folders このサービスは、ワーク 手動	L
🥋 Workstation SMB プロトコルを使 実行中 自動	ΝΥ.
<	>
└\ 払張 / 標準 /	

③ 「Windows Time」を右クリックで「プロパティ」を選択して、「スタートアップの種類」のプルダウンから「自動 (遅延開始)」を選択して「OK」をクリックする

(ローカル コンピューター) W	indows Time のプロパティ	×
全般 ログオン 回行	复 依存関係	
サービス名:	W32Time	
表示名:	Windows Time	
説明:	ネットワーク上のクライアントとサーバーの日時の同期を維持し ます。このサービスを停止すると、日時の同期は行われなくなり	
実行ファイルのパス: C:¥WINDOWS¥syste	em32¥svchost.exe -k LocalService	
スタートアップの 種類( <u>E</u> ): 〜		
サービスの状態:		
開始( <u>S</u> )	<b>停止(①</b> 一時停止( <u>P</u> ) 再開( <u>R</u> )	
ここでサービスを開始す	るときに適用する開始パラメーターを指定してください。	
開始/(ラメーター( <u>M</u> ):		
	OK キャンセル 適用(A)	

🔍 サービス					_		×
ファイル( <u>F</u> ) 操作( <u>A</u> )	表示( <u>V</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )						
🗢 🔿 🗔 🖂	) 📑 🛛 📷 🕨 🔲 II 🕪						
🔍 サービス (ローカル)	・ サービス (ローカル)	_					
	Windows Time	名前 ^	説明	状態	スタートアップの種類		^
	<u>サービスの停止</u> サービスの停止	Windows Search Windows Store Service (WS	ファイル、電子メール、 Windows ストアのイ	実行中	自動 (遅延開始) 手動 (トリガー開始)		
		🆏 Windows Time	ネットワーク上のクラ	実行中	自動 (遅延開始、ト	リガー開始	)
	説明: ネットワーク上のクライアントとサーバーの日 時の同期を継ばします。2のサービスを広い	<ul> <li>Windows Update</li> <li>Windows パックアップ</li> <li>Windows モバイル ホットスポッ</li> </ul>	Windows およびそ… Windows バックアッ… 携帯データ接続を別…		手動 (トリガー開始) 手動 手動 (トリガー開始)		
	するに向新を維持しより。このサービスを停止 すると、日時の同期は行われなくなります。 このサービスを無効にすると、このサービスに	WinHTTP Web Proxy Auto Wired AutoConfig	WinHTTP はクライア Wired AutoConfig	実行中	手動 手動		
	1次任していつサービスは起動できなくなります。 す。	WLAN AutoConfig WMI Performance Adapter Work Folders	WLANSVC サービス Windows Manage このサービスは、ワーク	実行中	自動 手動 手動		ł
		Workstation	SMB プロトコルを使	実行中	自動		> ~
	└ 拡張 / 標準 /						

<メディアプレーヤーでローカルに構築した NTP サーバーを設定する>

- MP-02の設定メニューを表示(MP-02にUSBマウスを接続して、再生中または「スケジュールがありません。メモリーカードを確認してください。」表示でダブルクリック) regedit.exe を起動する(Windowsの検索機能で regedit を検索・実行します)
- ② 設定メニューの「日付の設定」をクリック
- ③ 「日付と時刻の設定」の「NTP サーバー」ラジオボタンをクリック
- ④ 「NTP サーバー」テキストボックスにローカル NTP サーバーの IP アドレスを設定して「OK」をクリック (例:192.168.11.2)
   ※リモートマネージャーPC に NTP サーバーを構築した場合はリモートマネージャーPC の IP アドレスを確認・設定してください)

<ul> <li>NTPサーバー</li> </ul>		
NTPサーバー 192.168.11.2		

設定した NTP サーバーに接続成功すると以下のメッセージを設定メニュー中央に表示してメディアプレーヤーが再起動します。

※設定完了後に設定メニューの「日付と時刻の設定」を表示すると初期値の「jp.pool.ntp.org」を表示します(メディアプレーヤーは設定 したアドレスを保持します)。初期値で「OK」クリックすると設定したアドレスが初期値に変更されます。



設定した NTP サーバーに接続に失敗すると以下のメッセージを表示します。

本メッセージが表示された場合、設定した IP アドレスが間違っているか、Windows Time サービスが「実行中」でない可能性があります。 IP アドレスを確認するか、NTP サーバーを構築した PC で Windows Time サービスを開始してください。

<ul> <li>NTPサーバー</li> </ul>
NTPサーバー
192.168.11.2
NTPサーバーから日付・時刻を受信できませんでした。

#### 7. MP-02 が表示するメッセージ

MP-02 が全画面表示するメッセージと表示する条件について説明します。

メッセージ	表示条件
<黒画面表示(何も表示しない)>	スケジュールのプログラムがタイムテーブルで設定されていない場合に黒画面表示します。
スケジュールがありません。 メモリーカードを確認してください。	<ul> <li>・メモリーカードに再生しようとするスケジュールがないときに表示します。</li> <li>・メモリーカードがない(正しく認識されていない、または挿入されていない状態)ときに表示します。</li> <li>・再生しようとする日付に予定表がスケジュール設定されていないときに表示します。</li> </ul>
スケジュールを受信中です。 電源を切らないでください。	リモートマネージャーからネットワーク経由でスケジュールを受信しているときに表示 します。
スケジュールを確認中です。	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> メモリーカードへコピーするスケジュールがあるか USB メモリーを確認しています。 →確認動作は数秒で完了して次の動作へ遷移します。</usb>
コピー中です。 電源を切らないでください。	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> USB メモリーからメモリーカードへスケジュールをコピー中に表示します。</usb>
コピーを終了しました。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 メモリーカードへのスケジュールコピーが正常終了したときに表示します。 USB メモリー取り外し後、MP-02 を起動してください。</usb>
スケジュールがありません。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 USB メモリーにスケジュールが存在しない時に表示します。USB メモリー内でスケジ ュールデータがあるかどうか確認してください。</usb>
スケジュールをコピーできません。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 ・書き込み動作を始めようとした時にメモリーカードがない(と認識された)ときに表 示します。 ・書き込み中に何かしらの障害がありコピーに失敗したときに表示します。 メモリーカードを挿入しなおしてから再操作してください。</usb>
スケジュールをコピーできません。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 スケジュールコピー中に USB メモリーが取り外されたときに表示します。操作をやり 直してください。</usb>
メモリーカードの空き容量が不足しています。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<usb メモリーコピー機能使用時に表示=""> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 メモリーカード容量が足りない時に表示します。コピーしようとするスケジュールのデ ータサイズがメモリーカード容量より大きいため、大容量にメモリーカードに変える か、オーサリングソフトウェアでスケジュールを編集してサイズを減らす必要がありま す。</usb>

MP-02 トラブルシューティングガイド

	<メモリーカードが認識できない時に表示>
	MP-02 がスケジュールデータ再生中にメモリーカードが何らかの理由で認識できなくな
	ったときに表示します。30 秒後に MP-02 が自動的に再起動します。マウスでダブルク
	リックすると再起動を停止することができます。停止した場合は「メモリーカードがあ
メモリーカードがありません。 (エラー101)	りません。 (エラー101)」を表示します。
システムは 30 秒後に再起動します	なお、マウス操作で停止しない場合、メモリーカードが認識できるまで本動作を繰り返
ダブルクリックすると再起動を停止します。	します。(合計 3 回実施します)
	- マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してく
	だい。メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してくださ
	い。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコ
	ンなどで正しく動作するかを確認してください。
メモリーカードがありません。 (エラー101)	上記の「エラー101」メッセージ表示中にマウスダブルクリックで再起動を停止すると
	表示します。
	- マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してく
	ださい。メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してくださ
	い。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコ
	ンなどで正しく動作するかを確認してください。
	<メモリーカードのデータが読めない時に表示>
メモリーカードがありません。 (エラー102) システムは 30 秒後に再起動します ダブルクリックすると再起動を停止します。	MP-02 がスケジュールデータ再生中にメモリーカードのデータが何らかの理由で読めな
	くなったときに表示します。30 秒後に MP-02 が自動的に再起動します。マウスでダブ
	ルクリックすると再起動を停止することができます。停止した場合は「メモリーカード
	がありません。 (エラー102)」を表示します。
	なお、マウス操作で停止しない場合、メモリーカードからデータが読み込めなければ本
	動作を繰り返します。(合計 3 回実施します)
	-マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してく
	ださい。メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してくださ
	い。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコ
	ンなどで正しく動作するかを確認してください。メモリーカードにスケジュールデータ
	があるかどうか確認してください。メモリーカードに問題がなければスケジュールを再
	エクスポートしてください。
メモリーカードがありません。 (エラー102)	上記の「エラー102」メッセージ表示中にマウスダブルクリックで再起動を停止すると
	表示します。
	- マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施して、
	メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してください。
	再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンな
	どで正しく動作するかを確認してください。メモリーカードにスケジュールデータがあ
	るかどうか確認してください。メモリーカードに問題がなければスケジュールを再エク
	スポートしてください。
メモリーカードを確認してください。	<メモリーカードが認識できない時、メモリーカードのデータが読めない時に表示>
	エラー101 またはエラー102 を検出で再起動を 3 回繰り返した後に表示します。
	-マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してく
	ださい。メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンなどで正しく
	動作するかを確認してください。メモリーカードにスケジュールデータがあるかどうか
	確認してください。メモリーカードに問題がなければスケジュールを再エクスポートし
	てください。

※ご注意:もし電源ランプが点灯したまま画面に何も表示されない現象が発生した場合は、電源ボタンを電源ランプが消えるまで 長押ししてください。(約10秒)

もし電源ランプが消えなかったときは MP-02 の AC アダプターを抜き差しして電源を入れなおしてください。(1.13 参照)